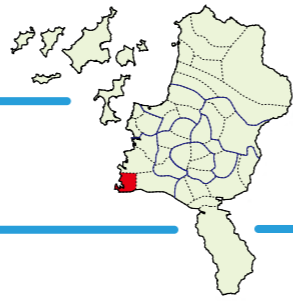


はぶ 垣生地区

人口: 12,060人(高齢化率24.0%)
世帯数: 5,219世帯



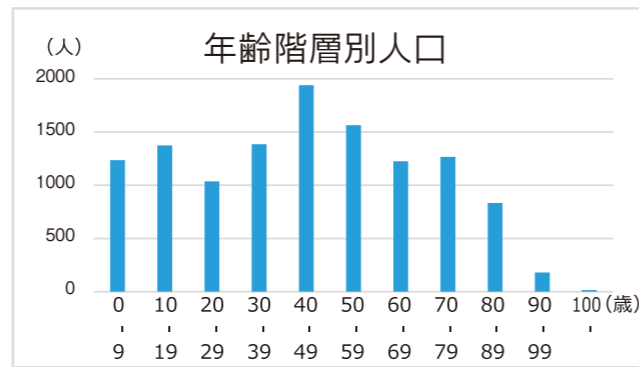
【地区の特色】

松山市の西南端に位置する垣生地区は、南に重信川河口、美しい夕日の落ちる風光明媚な所、年間を通して3,000羽の渡り鳥が羽根を休める。半農半漁のこの町も時代の流れと共に企業や会社人口も増しているが、新旧住民の意志疎通は図られている。

また、地区住民の幸せを願って西国33霊場のお地藏様が町の角々に建てられているのもこの地域ならではの特色であり、伊予絋の発案者で有名な鍵谷カナの生誕の地でもある。



重信川河口から見る夕日



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 防災関連の活動が活発(防災士、自主防災会、女性防火クラブなど) 俳句の里としての歴史が残っている・サロン活動が活発・子どもの見守り 夏祭り盆踊り大会・医療機関が多い・生活関連施設に恵まれ生活しやすい 公園、グラウンドが多い・保育園、幼稚園、小中学校が地域に溶け込んでいる 町内会行事の参加者が多い・ループバス便が15分~30分毎にある 自然が残っている・公共機関が地区の中央にある・歴史が豊か 人口が増加している・児童が増えている・道路が広い(東垣生)・空港が見える公園 	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅が多いので連絡が取りにくくなった・若者が町内会に加入しない 団体数が多く連携が難しい・人口の増加により、新旧住民との関係がうまくいかない 地域色が強すぎる・交通の便が悪い(高齢者は特に不便) 西垣生は生活道路が狭く空き家が多い・街灯や外灯が少なく暗い場所が多い 西垣生の道が狭く収集車が入らない・市営墓地の駐車場が無く路駐が多い ごみステーションの問題(ルールを守らない人がいる) 中心部の道路が狭い・地域住民が集まれる複合型コミュニティ施設がない 公民館が古くなっている(駐車場がない、エレベーターがない) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者は個人からの申請がないので把握できない 災害時の高齢者のための避難施設の整備が必要 老老介護の方が増えている・道が狭く救急車が入りづらい(西垣生町内) ループバスが南北にもあればよい 高齢者と若者で地域への関わり方の意識に差がある 独居の認知症高齢者を地域で支える方法 空港整備で町のつながりが変化してきた・住所標記ができていない 地域の繋がりが希薄・地区内の幼稚園と保育園に入れにくい

垣生地区社会福祉協議会

構成団体	共同募金会・地区民協・公民館・分館・PTA・更生保護女性会・町内会連盟 女性防火クラブ・高齢クラブ連合会・協議会・防犯協会・レディースネットワーク
主な取り組み	活動内容
特別支援学級児童との交流行事	小学校の特別支援学級に通う児童との交流行事を開催し、りんご狩りなどの学外活動を中心に社会体験の提供に努めています。
高齢者・児童の見守り	地区民協と協力して、独居高齢者宅を毎月訪問し安否確認等を行っています。また、小・中学校と連携し夏休み・冬休みのパトロールを行っています。
ひとり親世帯の支援	毎月第3土曜日に親子カフェを開催し、食事の提供と交流を実施しています。

鍵谷祭

伊予かすりを考案した鍵谷カナの命日である5月28日にあわせ垣生地区で行われている「鍵谷祭」において、公民館と連携してもちつきや販売、サロン作品の展示などを行っています。伝統文化を次世代に伝えるため、地区社協として支援しています。



<地区社協が目指すもの>

垣生地区は、伊予絋の考案者鍵谷カナや俳人村上露月・石田波郷を生んだ伝統と文化溢れる地です。現在は、若い世代のUターンや農地の宅地化に伴い新しく移り住む人も多くいます。一方で高齢者も増加しており、世代を超えた交流或いは新旧住民が一体となった活動が必要です。地域住民交流の場として、まちづくり協議会が検討している複合型施設の整備が必要であり、地区社協として協力しています。今後も地域の関係団体と連携し、地域の実情に応じた福祉活動を展開して、「みんなでつくろう!笑顔でつなぐ垣生のまち」の実現を目指します。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員	16名		53団体
主任児童委員	2名		■高齢クラブ	0クラブ
			■子ども会	15団体
■まち協の設立	平成26年度		■自主防災組織	33組織

Uターンで戻ってくる若い世代が多く、また農地の住宅地化に伴い人口が増加傾向にあります。そのため、地域行事への参加者も多く、地域活動に興味・関心の高い地区と言えるでしょう。また、地区社協の構成団体も多様で、関係機関と連携・協働した活動が展開されています。例えば高齢者・児童の見守り活動、ひとり親世帯への支援としての親子カフェ、食事の提供と交流などがあります。さらに、鍵谷祭を通して、地域住民に伝統文化が継承されるなど、これらの取り組みから新しい形でのつながりが期待できる地域だといえるでしょう。

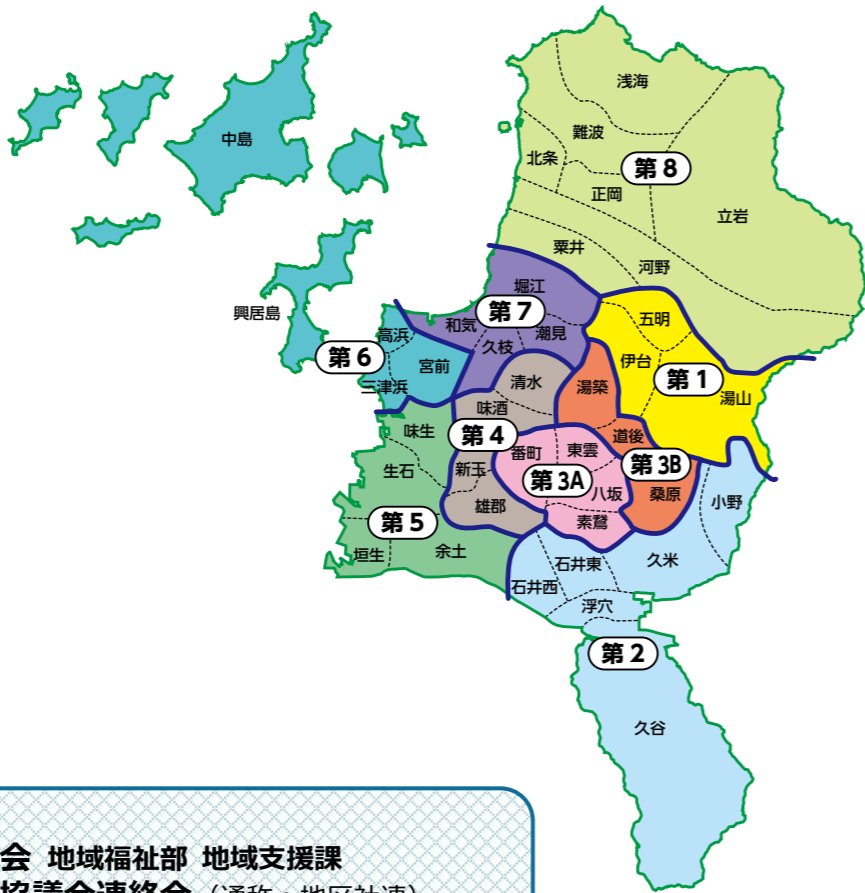


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
素鷲地区	味酒地区	味酒地区			
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
桑原地区	味酒地区	味酒地区			
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
味酒地区	味酒地区	味酒地区			
第5	余土地区	第5	余土地区	第5	余土地区
	垣生地区		垣生地区		垣生地区
	生石地区		生石地区		生石地区
味生地区	味生地区	味生地区			



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

- ・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
- 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏